



日本公共政策学会

Public Policy Studies Association

学会概要

入会案内

研究大会

研究会掲示板

データベース

ダウンロード

学会賞・学生政策コンペ

『公共政策研究』

事務局

ホーム

公共政策フォーラムin柏は2008年10月3日、4日千葉県柏市で開催の予定です。2008年度研究大会は盛会のうちに終了しました。次回は2009年に龍谷大学で開催されます。2007年度以前の研究大会、公共政策フォーラムの内容は、「ダウンロード」から見ることができます。

公共政策フォーラム2008 in 柏 2008年10月3日～4日開催 **08/08/19更新**

1. **08/19** 新しい情報に更新されました。フォーラム開催のご案内、交流会のご案内等が更新・掲載されています。[こちら](#)をご覧ください。
2. [プログラムについて](#)
3. [学生政策コンペの開催について \(04/24更新\)](#)

2008年度研究大会 6月14日～15日開催

1. [2008年度研究大会報告と大会の様子](#)
2. プログラム [PDF版 \(168k\)](#) 5/3掲載
3. プログラム [HTML版](#)5/3掲載

2008年度研究大会報告

2008年度大会実行委員長 楢原真二（北九州市立大学）

北九州市立大学で開催されました日本公共政策学会2008年度研究大会は、お陰様で無事に終了することができました。九州地区で初めての研究大会ということもあり、至らぬ点が多々見受けられたかと思いますが、何とか無事に終えることができましたのも皆様がたのご協力のおかげかと存じます。開催校スタッフを代表し、心よりお礼申し上げます。

今回の研究大会には、会員180名と非会員144名の合計324名のご参加がありました。過去最高ではないかといわれておりますほどの研究大会へのご参加がありましたのは、企画委員会の先生方が大変興味深いシンポジウムや分科会を企画していただいたことによるのではないかと思います。また、多くの非会員の方々にご参加いただきましたのは、日本公共政策学会の知名度が年々高まっていることのあらわれではないかと思われま



2日間にわたるシンポジウム、分科会では極めて有意義な報告と議論が展開されました。多くの分科会で議論が白熱し、時間が足りない状況にあったとの話を聞いております。2008年度研究大会は、公共政策研究の一層の発展に寄与することができたのではないかと思います。また、九州地区の公共政策研究への起爆剤になりえたと確信しております。

日本公共政策学会は、年々会員数もふえ、活動内容も充実したものになっております。今後のさらなる発展を心から期待いたしますとともに、北九州市立大学での研究大会開催

に際し、理事会の方々をはじめご尽力いただいたすべての関係者の皆様へ再度お礼申し上げます。

日本公共政策学会2008年度研究大会 企画の趣旨

企画委員長 辻中豊（筑波大学）

本学会は、公共政策研究に関わる様々な研究領域に属する研究者や実務家によって構成されていることから、研究大会が幅広い多様性を持つことは当然のことです。他方で、現代における公共政策に課せられた問題がますます重大かつ深刻になっていることから、そうした現代の公共政策の諸問題に果敢に挑戦し、学問研究の立場からその構造を明らかにし、解決案を模索し提起することも、一層必要になっていると思われまます。

そうしたことから本大会では、「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」という現代日本の最も大きな政策課題の一つを取り上げました。さらに学会固有の問題として「公共政策学のディシプリンを立てる」というテーマも掲げ、2つを共通テーマとして、2つのシンポジウムと12のパネル、4つの若手パネル、1つの韓国政策学会との交流パネルを企画いたしました。

前者に関しては、財政学や経済学の分野では、日本の財政はすでに「大きな政府」になっており、同時に持続可能性、資源配分の無駄という点でも問題を抱えているという見方が常識的です。ところが政治家が公言しジャーナリズムが書き立てるように政府の規模が大きいかといえば、公務員や広義の公共セクターの人員数は「先進国で最も小規模」であり、財政規模や税収自体の規模も先進国では小さい類型に入ります。小政府と大赤字は基本的に別の問題であり、両者を結びつける議論の構成自体が問題をはらんでいるのです。本研究大会では、特別会計の問題の解明やなぜそもそも歳入に合わせた歳出を組めないか、なぜ増税ができずにいるのかなど、単純にして本質的な問題へシンポジウムやパネルを通じて接近したいと考えております。後者「公共政策学のディシプリンを立てる」についても、学会の会長経験者の協力を得て公共政策学の学としてのあり方を考えるシンポジウムを設け、また関連パネルを設ける予定です。

財政赤字やグローバリゼーションに端を発する、今世紀に入ってからの諸公共政策の変化は、基礎自治体のあり方や基盤となる地域社会において格差・貧困など多くの深刻な問題を生み出すことになりました。今大会では、こうした問題にも意欲的なパネルを設定しました。以上に加えて、地球的な問題としての環境問題、またあまりこれまで問題として認識されなかった図書館政策、さらにマニフェストや市民社会と公共政策、ガバナンス評価などに関する興味深い分科会を設けました。

会員の皆さんが、このような先進的かつ本格的で意欲的なシンポジウム、パネルセッションの内容に刺激され、多くの示唆を受けることができる場を提供できれば幸いです。また、こうした場を通じて、学会と社会の有意義な交流が可能となることを念じております。

日本公共政策学会2008年度研究大会プログラム

共通テーマ

「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」

「公共政策学のディシプリンを立てる」

開催場所：北九州市立大学北方キャンパス、本館内各会場

第1日 6月14日（土）

●9：30～11：30 若手研究者セッション

A. 「地方政府と参加」

脇坂徹（関西大学）「市町村合併の政策過程における住民投票の機能的分類」

濱崎晃（早稲田大大学院）「二元代表制における市民参加型政策形成の可能性—地方議会改革に焦点を当てて—」

久保慶明（筑波大大学院）「非統一政府下における新規税制導入の政策過程：神奈川県水源環境保全税を事例として」

司会：廣瀬克哉

B. 「地域における政策課題の現在」

水田敦士（立命館大大学院）「『大学のまち』京都における大学政策～大学・地域連携における現状と課題～」

鈴木潔（日本都市センター）「自治体における法務管理—行政上の義務履行確保と訴訟法務を中心に」

遠藤崇浩（総合地球環境学研究所）「地表水と地下水の統合管理について—愛媛県西条市を事例に—」

司会：真山達志

C. 「国家・国際政策の課題」

大瀧正子（立命館大大学院）「公平性の観点からみたポスト京都に向けた数値目標設定の問題点—ダボス会議から北海道洞爺湖サミットへ向けて—」

那須修（警察大学校）「官民一体となった被害者支援活動の発展に向けた今後の課題」

伊藤慎式（行政管理研究センター）「個人情報保護法と過剰反応—内容分析による検証」

司会：宇佐美誠

D. 「政策・政治過程の分析」

京俊介（大阪大大学院）「コンピュータ・プログラム著作権創設の政治過程」

田中信一郎（明治大大学院）「質問主意書の作成過程」

Ahmed Mohamed Abd Rabou（北海道大学大学院）"Policy Networks and Policy Making Process: A Case of Education Reforms in Japan, 1980-2000."

LIU Zhiyoung（東北大大学院）"Public-Private Partnerships in China : Status Quo, Issues and Trends."

司会：松田憲忠（北九州市立大学）

●11:30-12:30 昼休み・理事会

●12:30~14:30 シンポジウム

「公共政策学のディシプリンを立てる」

パネリスト：松下圭一（日本公共政策学会初代会長）

足立幸男（関西大学）

細野助博（中央大学）

森脇俊雅（関西学院大学）

司会：真淵勝（京都大学）

●14:45~16:45 セッション

E. 「補完行政の今後」（シンポジウム形式）

浅野史郎（前宮城県知事）、片山善博（前鳥取県知事、慶応大）、北川正恭（前三重県知事、早稲田大）

司会：横須賀徹（常磐大学）

F. 「都市の貧困化と限界コミュニティ—神戸と北九州市を事例にして」

池田清（下関市立大学）「都市の貧困化と『限界コミュニティ』—阪神・淡路大震災後の神戸市を事例に一」

植原真二（北九州市立大学）「高齢社会と限界コミュニティ—北九州市を事例にして—」

山下厚生（北九州社会教育・生涯学習研究会事務局長）「『貧困化』の背景を社会教育の側面から考察—戦後63年の流れとまちづくりの『今』をみながら—」

討論者：広原盛明（龍谷大学法学部教授）

司会：太田周二郎（下関市立大学）

G. 「環境ガバナンスの比較地域研究」

申東愛（北九州市立大学）「AFCにみる環境ガバナンスの条件に関する研究—国営諫早湾土地改良事業の実施過程を中心として—」

高津融男（奈良県立大学）「日本の農業・食料・環境の持続可能性」

長峯純一（関西学院大学）「政策形成と流域ガバナンスのあり方—Chesapeake Bay ProgramとCALFED Bay-Delta Programからの示唆—」

討論者：調整中

司会：長峯純一（関西学院大学）

H. 「公共政策—学と官の新しい地平」

討論者：阿川尚之（慶應義塾大学）、田中法昌（警察庁）、原田賢一郎（東北大学）、松原聡（東洋大学）

司会者候補：黒須卓（国土交通省）

●17:00~18:00 総会・授賞式

（バスで移動）

●18:40~20:40 懇親会（リーガロイヤルホテル小倉）

第2日 6月15日（日）

●9:30~11:30 セッション

I. 韓国政策学会との交流セッション

基調報告：廉載鎬（高麗大校）

他報告者等調整中

J. 「現代日本の貧困・不平等について考える」

藤藪貴治（北九州市立大学）「生活保護『ヤミの北九州方式』の実態から、生活保護行政の在り方を考える」

湯浅誠（NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長）「生活困窮者支援の現場から『反貧困』の課題を考える」

井上英夫（金沢大学）「貧困・不平等と人権」

司会：杉村宏（法政大学）

K. 「財政赤字と福祉国家における財源調達」

基調講演：加藤淳子（東京大学）

討論者：横山彰(中央大学)、井手英策(横浜国立大学)

司会：諸富徹(京都大学)

L. 「日本のガバナンスを評価する」

大住荘四郎(関東学院大学) 「日本のNPMについて：国際比較の観点から」(仮)

桜井徹(日本大学) 「日本の公企業民営化の特徴：国際比較、とくに日独比較を中心に」

秋吉貴雄(熊本大学) 「わが国における規制緩和の制度設計と政策パフォーマンス—航空輸送産業を事例として—」

討論者：調整中

司会：笠京子(明治大学)

M. 「市民社会(自治会、社会団体、NPO)と自治体のガバナンス」

山本英弘(筑波大学) 「近隣住民組織による行政へのはたらきかけ—自治会・町内会全国調査の分析—」

森裕城(同志社大学) 「日本の政治過程における団体の存立・行動様式—市民社会団体調査(JIGS2調査)の分析—」

他交渉中

司会：Robert Pekkanen(ワシントン大学)

●11:30~12:30 昼食・理事会

●12:30~12:50 総会

●13:00~15:00 セッション

N. 「ローカル・マニフェスト評価の理論と実践」

伊藤修一郎(筑波大学) 「マニフェスト評価と行政組織」

林紀行(早稲田大学) 「ローカル・マニフェストの現状」

長野基(跡見学園女子大学) 「市民によるマニフェスト評価—市民社会組織による評価事例からの考察」

討論者：廣瀬克哉(法政大学)

司会：小池治(横浜国立大)

O. 「図書館政策」

萩原幸子(専修大学) 「公共図書館におけるPPP概念の適用：現状と課題」

女子分博恭(宮崎市立図書館) 「NPO法人MCLボランティアによる宮崎市立図書館の運営」

黒岩秀文(長崎市立図書館長) 「長崎市立図書館整備運営事業について」

討論者：片山善博(慶應義塾大学)

司会：初谷勇(大阪商業大学)

P. 「環境ガバナンスと民主主義の理念」

竹下 賢(関西大学) 「環境ガバナンスにおける公共性の意義」

坪郷實(早稲田大学) 「環境ガバナンスと政策づくり—環境目的と環境指標を中心に」

山谷清志(同志社大学) 「ガバナンスとアカウンタビリティ—'public governance'と'good governance'から—」

討論者：野田浩資(京都府立大学)

司会者：足立幸男(関西大学)

Q. 「地方財政改革：基礎自治体関係」(シンポジウム形式)

小西砂千夫(関西学院大学)

江島潔(下関市長) 「下関市の行財政改革について」

青山崇(多治見市会計管理者) 「自律的な自治体運営を目指して—多治見市の総合計画と健全な財政に関する条例を事例として—」

司会：横須賀徹(常磐大学)

●15:15~17:15 シンポジウム

「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」

パネリスト：井堀利宏(東京大学)

(同)：吉田和男(京都大学)

(同)：細野助博(中央大学)

(同)：辻中豊(筑波大学)

司会：長峯純一(関西学院大学)

公共政策フォーラム2008 in 柏

- ・ [08/19更新](#) フォーラム開催のご案内 PDF (28k) [Word \(10k\)](#)
- ・ [フォーラムin柏](#) 一般申込書 PDF (8k) [Word \(36k\)](#)
- ・ [08/19更新](#) 交流会のご案内 PDF (63k) [Word \(28k\)](#)
- ・ [08/19更新](#) 交流会参加申込書 PDF (128k) [Word \(69k\)](#)

- ・ 学生政策コンペ参加の皆さんへ [PDF \(6k\)](#) [Word \(24k\)](#)
- フォーラムin柏 宿泊のご案内 [PDF \(208k\)](#)
- 宿泊申込用紙 [PDF \(128k\)](#) [Word \(89k\)](#)

公共政策フォーラム2008 in 柏の開催について

公共政策フォーラム委員長 田中富雄

2008年度の公共政策フォーラムは、「自立都市を目指して－民・産・学・官の協働によるまちづくり」を全体テーマに、10月3日（金）～10月4日（土）の2日間、千葉県柏市にあるアミュゼ柏（最寄駅：JR常磐線柏駅・東京駅から上野駅乗り換えを含め約50分。柏駅から会場までは徒歩8分）を中心に開催されます。

フォーラムの詳細については、6月中旬に学会ホームページで発表する予定です。また、会報次号でもお知らせいたします。今しばらくお待ちください。

また、今回の公共政策フォーラムにおいても、学生政策コンペを開催します。会員の皆様のゼミ等でのご指導に活用していただければ幸いです。

7/18に最新情報が掲載されました開催の詳細は、「フォーラム開催のご案内」[PDF \(65k\)](#) [Word \(98k\)](#) などをご確認下さい。

学生政策コンペについて

1. テーマ：「持続可能（サステイナブル）なまちづくり」

サステイナブルという言葉の響きが、環境保護・保全という視点に捉われがちですが、今日的な行政課題は様々で多岐にわたりますので、地方分権型社会への転換を強く求められる中で、地域資源・強みを活かした個性ある自立した都市経営が問われている点を考慮し、「都市の持続性、持続力」、「自立した都市経営」あるいは「地域資源・魅力の活用」といった視点からの「持続可能（サステイナブル）なまちづくり」についての提言を期待しています。

今回のコンペは、上のテーマに関連する研究発表に限定させていただきますので、ご了承ください。

2. 会場：アミュゼ柏 他

3. 実施日：10月3日（金）

ただし、優秀賞の発表は10月4日（土）に行います。

4. 応募に関して

1. 応募は1ゼミ1チームとさせていただきます。
2. 応募の締め切りは、現在のところ6月24日（火）ごろを予定しています。ただし、多少の変更があるかも知れません。これについては、5月27日（火）ごろに学会ホームページで確定した内容をお知らせします。ご迷惑をおかけしますが、ホームページにご注意くださるようお願いいたします。
3. 参加を希望されるゼミは、別紙「[学生コンペ参加申込書](#)」（Wordファイル(.doc)）を6月24日（火）までに、ご提出ください。

「公共政策フォーラム2008 IN 柏」の開催について

公共政策フォーラム2008 IN 柏実行委員会
実行委員長 田中 富雄

柏市の中核市移行(平成20年4月1日)を記念し、「自立都市を目指して - 民・産・学・官の協働によるまちづくり - 」を全体テーマとして、平成20年10月3日(金)、4日(土)の2日間、千葉県柏市のアミュゼ柏をメイン会場として、「公共政策フォーラム2008 IN 柏」が開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

- 1 趣旨 地方分権の流れは留まることなく、「基礎自治体優先の原則」の下、基礎自治体が、より独立した存在として機能できるよう、引き続き、国と地方の役割分担や国による様々な規制等について見直しが進められている。

一方、少子高齢化が加速する中、子育て支援策の充実や、安心・安全な社会の実現、温暖化防止対策をはじめとした地球環境の保全など、今後も持続可能な社会の実現に向け、様々な対応が求められている。

特に住民に一番身近な存在である基礎自治体には、地域の実情を踏まえ、個性と創造力を発揮し、生活者の視点に立った活力ある地域社会を構築することが求められている。

私たちは、柏市の中核市移行を契機に、地域活動に関わる様々な主体が真に協働・連携し、地方分権の時代にふさわしい「自立都市」のあるべき姿を共に考える契機とするための「公共政策フォーラム2008 IN 柏」を開催いたします。

- 2 主催 公共政策フォーラム2008 IN 柏実行委員会、柏市、日本公共政策学会
- 3 後援 柏商工会議所
- 4 参加費 無料
- 5 スケジュール概要

《1日目：10/3(金) 13:00～18:00 交流会 19:00～21:00》
学生による政策コンペ

「持続可能(サステイナブル)なまちづくり」

交流会

《2日目：10/4(土) 13:00～16:30》

オープンセレモニー

優秀コンペ発表

基調講演

「自立都市を目指して」 松原 聡 東洋大学経済学部教授

パネルディスカッション

「民・産・学・官の協働によるまちづくり」(調整中)

詳細スケジュールは、随時ホームページでお知らせします。

〔事務局〕 柏市企画部企画調整課 担当：染谷(そめや) 稲荷田(いなりだ)

住所：〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号

電話：04-7167-1117 FAX：04-7167-6644

E-mail：kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

「公共政策フォーラム2008 IN 柏」の開催について

公共政策フォーラム2008 IN 柏実行委員会
実行委員長 田中 富雄

柏市の中核市移行(平成20年4月1日)を記念し、「自立都市を目指して―民・産・学・官の協働によるまちづくり―」を全体テーマとして、平成20年10月3日(金)、4日(土)の2日間、千葉県柏市のアミュゼ柏をメイン会場として、「公共政策フォーラム2008 IN 柏」が開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

- 1 趣旨 地方分権の流れは留まることなく、「基礎自治体優先の原則」の下、基礎自治体が、より独立した存在として機能できるよう、引き続き、国と地方の役割分担や国による様々な規制等について見直しが進められている。

一方、少子高齢化が加速する中、子育て支援策の充実や、安心・安全な社会の実現、温暖化防止対策をはじめとした地球環境の保全など、今後も持続可能な社会の実現に向け、様々な対応が求められている。

特に住民に一番身近な存在である基礎自治体には、地域の実情を踏まえ、個性と創造力を発揮し、生活者の視点に立った活力ある地域社会を構築することが求められている。

私たちは、柏市の中核市移行を契機に、地域活動に関わる様々な主体が真に協働・連携し、地方分権の時代にふさわしい「自立都市」のあるべき姿を共に考える契機とするための「公共政策フォーラム2008 IN 柏」を開催いたします。

- 2 主催 公共政策フォーラム2008 IN 柏実行委員会、柏市、日本公共政策学会
- 3 共催 柏商工会議所
- 4 参加費 無料
- 5 スケジュール概要

《1日目：10/3(金) 13:00～18:00 交流会 19:00～21:00》
学生による政策コンペ

「持続可能(サステイナブル)なまちづくり」
交流会

《2日目：10/4(土) 13:00～16:30》

オープンセレモニー

優秀コンペ発表

基調講演

「自立都市を目指して」 松原 聡 東洋大学経済学部教授

パネルディスカッション

「民・産・学・官の協働によるまちづくり」(調整中)

※詳細スケジュールは、随時ホームページでお知らせします。

[事務局] 柏市企画部企画調整課 担当：染谷(そめや) 稲荷田(いなりだ)

住所：〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号

電話：04-7167-1117 FAX：04-7167-6644

E-mail：kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

一般申込書

受付日 ()

整理番号 ()

「公共政策フォーラム 2008 in 柏」参加申込書

下記の枠内を記入の上、8月25日(月)までに、郵送・E-mailのいずれかにてお申し込みください。

氏名	
所属	
連絡先住所	
連絡先電話番号	
連絡先E-mail (携帯不可)	
参加項目 (をつけて ください)	10月3日(金) 中央公民館 ほか
	13:00 - 18:00 学生による政策コンペ
	19:00 - 21:00 交流会(3,000円程度)
	10月4日(土) アミュゼ柏
	13:00 - 16:30 基調講演 ほか

申込先

公共政策フォーラム 2008 in 柏 事務局
柏市役所 企画調整課 担当：染谷、稻荷田(いなりだ)
住所：〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号
電話：04-7167-1117
E-mail：kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

公共政策フォーラム2008 in 柏 交流会参加申込書

(ふりがな) 氏名	()
所属	
連絡先	住所 電話 メール(携帯不可)

学生政策コンペに申し込まれた学生の皆さんへ

「公共政策フォーラム2008 IN 柏」において実施される学生政策コンペにお申し込みをいただきありがとうございます。

公共政策フォーラム2008 IN 柏実行委員会事務局では、お申し込みをいただいた段階で、受け付けた旨のメールを送信しております。

申し込みをしているにもかかわらず、事務局からの連絡がない場合には、事務局宛て、確認の連絡をお願いいたします。

〔事務局〕 柏市企画部企画調整課 担当：染谷（そめや）稲荷田（いなりだ）

住所：〒277-8505 千葉県柏市柏5丁目10番1号

電話：04-7167-1117 FAX：04-7167-6644

E-mail：kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

事務連絡

平成20年8月14日

関係者各位

公共政策フォーラム2008 in 柏実行委員会

実行委員長 田中 富雄

(委員長印省略)

学生交流会の開催について (ご案内)

「公共政策フォーラム2008 in 柏」初日(10月3日)の学生による政策コンペの終了後、下記のとおり学生交流会を開催します。コンペ参加以外の日本公共政策学会会員も参加可能ですので、奮ってご参加ください。

記

1. 日時 平成20年10月3日(金)
受付: 18時30分 開始: 19時(21時まで)
2. 場所 ボラボラ柏店(柏駅東口徒歩3分)
柏市柏4-3-1 三井ガーデンホテルB1
TEL 04-7165-0335
3. 会費 3,000円(2ドリンク付)
 - ・会費は、当日、会場での受付時に、お支払ください。
 - ・食事はビュッフェスタイル、飲み物は2ドリンク制となります。ドリンクを追加で注文する場合には、お店側に直接お支払ください(概ねアルコール500円、ソフトドリンク300円程度です)。
5. 申込 「公共政策フォーラム2008 in 交流会参加申込書」に必要事項を記入の上、**8月25日(月)まで**にE-Mailで事務局までお申込ください。
6. 事務局 公共政策フォーラム2008 in 柏実行委員会事務局
柏市企画部企画調整課 担当: 染谷, 稲荷田
電話 04-7167-1117(直通)
E-Mail kikakuchosei@city.kashiwa.lg.jp

『公共政策フォーラム2008 IN 柏』

2008年10月3日(金)・4日(土)大会会場：アミュゼ柏

- 宿泊のご案内 -

この度、「公共政策フォーラム2008 IN 柏」がアミュゼ柏にて盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。つきましてはこのフォーラムに参加される皆様方の宿泊のお世話をJTB柏支店にて担当させていただくこととなりましたので、ここにご案内申し上げます。皆様方のご利用を心よりお待ちしております。

お申込方法

宿泊のお申込をご希望される方は、別紙お申込書に、ご宿泊希望日、希望ホテル名、お部屋タイプ、人数、室数及びその他必要事項をご記入のうえ、8月25日(月)までにJTB柏支店宛にFAX(04-7167-5581)にてお申込みください。

8月25日(月)申込締め切り後、9月2日(火)頃を目途に、お申込内容に沿って申込代表者様宛てにご請求書をお送り致します。

* 9月3日(水)を過ぎてもご請求書が届かない場合にはJTB柏支店までご連絡ください。

お支払いは9月12日(金)までに請求書記載の振込先までお振込みにてお願い致します。

ご入金のご確認後、クーポン類を送付させていただきます。

追加・変更・取消につきましてはJTB柏支店までご連絡ください。

宿の受付は先着順とさせていただきますので、お早目のお申込をお願い申し上げます。

また、ご希望に添えない場合もございますので予めご了承下さい。

宿泊プラン(10/2(木)、3(金)、4(土)の3日間設定)

お一人様ご旅行代金(諸税・サービス料込)

記号	ホテル・旅館名	客室様式	食事条件	1名1室	2名1室	設定室数
A	ザ・クレストホテル柏	シングルルーム	1泊朝食	¥12,075	¥11,550	20室
		ツインルーム	1泊RC	¥11,550	¥10,395	5室
B	三井ガーデンホテル柏	シングルルーム	1泊朝食	¥9,870		40室
			1泊RC	¥8,820		
C	柏プラザホテル	シングルルーム	1泊朝食	¥6,785		60室
			1泊RC	¥5,985		
D	柏プラザホテル Annex	シングルルーム	1泊朝食	¥6,785		20室
			1泊RC	¥5,985		

旅行業務取扱料金として一人当たり@525円を別途頂きます。

【変更・取消について】

【17:30以降の着信による取消・変更は翌営業日扱いとなりますのでご注意ください。】

変更・取消が生じた場合、別紙申込書の「変更・取消 ご依頼内容」にご記入の上FAXにてJTB柏支店担当宛までお送り下さい。又、送信後、受付の返信(FAX)が無い場合は必ずご連絡下さい。なお、トラブル防止のためお電話での変更・取消はいたしかねますのでご了承願います。

下記期日を過ぎた着信による変更・取消については、下記の取消料が必要となりますのでご注意ください。(1泊あたりの宿泊料金に下記の取消料が必要となります。)

契約解除の日	
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目にあたる日以前の解除	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
旅行当日の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

【申込・問合せ先】 JTB柏支店 担当：河野・石原・岩堀

〒277-0005 千葉県柏市柏1-4-26 TEL:04-7163-6807 FAX:04-7167-5581

営業時間：月～金曜日の10:00～17:30(土日祝日を除きます。)

宿泊ホテルのご案内

A. ザ・クレストホテル柏

- 【住所】: 千葉県柏市末広町14-1
- 【TEL】: 04-7146-1111
- 【チェックイン】14:00
- 【チェックアウト】11:00
- 【交通】JR常磐線・東武野田線 柏駅西口下車徒歩3分
- 【施設案内】帝国ホテルグループの運営する近郊型
コミュニティホテル。“快適”“くつろぎ”“やすらぎ”
の3つの調和に行き届いたサービスをお届けいたします。



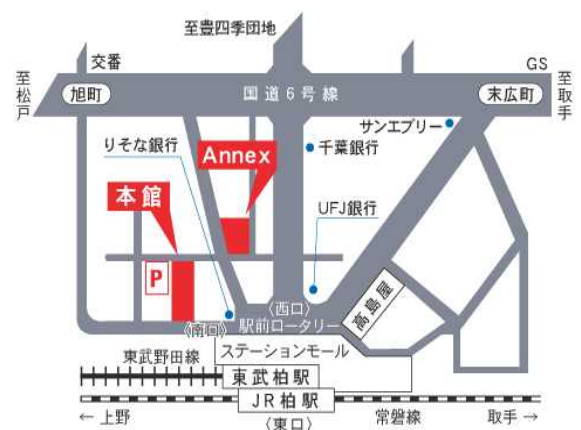
B. 三井ガーデンホテル柏

- 【住所】: 千葉県柏市柏4-3-1
- 【TEL】: 04-7166-3111
- 【チェックイン】15:00
- 【チェックアウト】11:00
- 【交通】JR常磐線・東武野田線 柏駅東口下車徒歩2分
- 【施設案内】柏駅より徒歩2分。シティホテルならではの
多彩な機能と質の高いサービスでぬくもり溢れる快適な
時をお届けします



B. 柏プラザホテル(本館) Annex

- 【住所(本館)】: 千葉県柏市旭町1-5-3
- 【住所(Annex)】: 千葉県柏市旭町1-10-1
- 【TEL(本館・Annex)】: 04-7147-1111
- 【チェックイン】15:00
- 【チェックアウト】10:00
- 【交通】JR常磐線・東武野田線 柏駅南口下車徒歩2分
- 【施設案内】JR常磐線柏駅南口より徒歩2分。本館と
アネックス合わせて360室のキャパシティをほこる
ビジネスホテル。



公共政策フォーラム 2008 宿泊申込書

申込書は、必ず保管しておいてください。

F A X : 0 4 - 7 1 6 7 - 5 5 8 1

申込締切 2008年8月25日(月)

受付 ()

申込日: 年 月 日

フリガナ						
所 属 名		性別		役職		
担当責任者 氏 名		男				
		女				
連絡先住所 (宿泊確認書及び宿泊請求書の送付先)	〒 -					
T E L		F A X				
携帯 TEL		E - M A I L				
同行者 (加加)		男・女	歳		男・女	歳
		男・女	歳		男・女	歳
		男・女	歳		男・女	歳
		男・女	歳		男・女	歳

同行者欄が足りない場合は、お手数ですがコピー願います。

ツインルームご希望の方は別紙、お部屋割表も作成し、送付願います。

(1) 宿泊プラン

宿泊希望	記号	ホ テ ル 名				朝食付		
第1希望						有り・なし		
第2希望						有り・なし		
宿泊日		10/2(木)		10/3(金)		10/4(土)		備考
部屋タイプ		人員	部屋数	人員	部屋数	人員	部屋数	
ホ ル	ツイン	名	室	名	室	名	室	
	シングル	名	室	名	室	名	室	
合計人員・室数		名	室	名	室	名	室	

(2) 変更・取消 ご依頼内容(具体的に記述してください)

(3) 振込利用の場合の返金先

	銀行 金庫 組合	支店	普通・当座	口座番号
口座名義人				

(4) 備 考

上記に記載する個人情報を旅行手配、手続代行のために必要な範囲内で宿泊・運送機関その他の第三者に提供されることを同意の上申し込みます。

所属名： _____

ご宿泊日 / () ホテル名

お部屋割り表 (ROOMING LIST)

氏名		氏名	

公共政策フォーラム 2008 宿泊申込書

申込書は、必ず保管しておいてください。

F A X : 0 4 - 7 1 6 7 - 5 5 8 1

申込締切 2008年8月25日(月)

受付 ()

申込日: 年 月 日

フリガナ					
所 属 名		性別		役職	
担当責任者 氏 名		男			
		女			
連絡先住所 (宿泊確認書及び宿泊請求書の送付先)	〒 -				
T E L		F A X			
携帯 TEL		E - M A I L			
同行者 (加加)		男・女	歳		男・女 歳
		男・女	歳		男・女 歳
		男・女	歳		男・女 歳
		男・女	歳		男・女 歳

同行者欄が足りない場合は、お手数ですがコピー願います。

ツインルームご希望の方は別紙、お部屋割表も作成し、送付願います。

(1) 宿泊プラン

宿泊希望	記号	ホ テ ル 名				朝食付		
第1希望						有り・なし		
第2希望						有り・なし		
宿泊日		10/2(木)		10/3(金)		10/4(土)		備考
部屋タイプ		人員	部屋数	人員	部屋数	人員	部屋数	
ホ ル	ツイン	名	室	名	室	名	室	
	シングル	名	室	名	室	名	室	
合計人員・室数		名	室	名	室	名	室	

(2) 変更・取消 ご依頼内容(具体的に記述してください)

(3) 振込利用の場合の返金先

	銀行 金庫 組合	支店	普通・当座	口座番号
口座名義人				

(4) 備 考

所属名： _____

ご宿泊日 / () ホテル名

お部屋割り表 (ROOMING LIST)

	氏名		氏名

日本公共政策学会 2008 年度研究大会 企画の趣旨
企画委員長 辻中豊 (筑波大学)

本学会は、公共政策研究に関わる様々な研究領域に属する研究者や実務家によって構成されていることから、研究大会が幅広い多様性を持つことは当然のことです。他方で、現代における公共政策に課せられた問題がますます重大かつ深刻になっていることから、そうした現代の公共政策の諸問題に果敢に挑戦し、学問研究の立場からその構造を明らかにし、解決案を模索し提起することも、一層必要になっていると思われまます。

そうしたことから本大会では、「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」という現代日本の最も大きな政策課題の一つを取り上げました。さらに学会固有の問題として「公共政策学のディシプリンを立てる」というテーマも掲げ、2つを共通テーマとして、2つのシンポジウムと12のパネル、4つの若手パネル、1つの韓国政策学会との交流パネルを企画いたしました。

前者に関しては、財政学や経済学の分野では、日本の財政はすでに「大きな政府」になっており、同時に持続可能性、資源配分の無駄という点でも問題を抱えているという見方が常識的です。ところが政治家が公言しジャーナリズムが書き立てるように政府の規模が大きいかといえば、公務員や広義の公共セクターの人員数は「先進国で最も小規模」であり、財政規模や税収自体の規模も先進国では小さい類型に入ります。小政府と大赤字は基本的に別の問題であり、両者を結びつける議論の構成自体が問題をはらんでいるのです。本研究大会では、特別会計の問題の解明やなぜそもそも歳入に合わせた歳出を組めないか、なぜ増税ができずにいるのかなど、単純にして本質的な問題へシンポジウムやパネルを通じて接近したいと考えております。後者「公共政策学のディシプリンを立てる」に関しても、学会の会長経験者の協力を得て公共政策学の学としてのあり方を考えるシンポジウムを設け、また関連パネルを設ける予定です。

財政赤字やグローバリゼーションに端を発する、今世紀に入ってから諸公共政策の変化は、基礎自治体のあり方や基盤となる地域社会において格差・貧困など多くの深刻な問題を生み出すことになりました。今大会では、こうした問題にも意欲的なパネルを設定しました。以上に加えて、地球的な問題としての環境問題、またあまりこれまで問題として認識されなかった図書館政策、さらにマニフェストや市民社会と公共政策、ガバナンス評価などに関する興味深い分科会を設けました。

会員の皆さんが、このような先進的かつ本格的で意欲的なシンポジウム、パネルセッションの内容に刺激され、多くの示唆を受けることができる場を提供できれば幸いです。また、こうした場を通じて、学会と社会の有意義な交流が可能となることを念じております。

日本公共政策学会 2008 年度研究大会プログラム

共通テーマ 「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」
「公共政策学のディシプリンを立てる」

開催場所：北九州市立大学北方キャンパス、本館内各会場

第1日 6月14日(土)

9:30~11:30 若手研究者セッション

A. 「地方政府と参加」

脇坂徹(関西大学)

「市町村合併の政策過程における住民投票の機能的分類」

濱崎晃(早稲田大大学院)

「二元代表制における市民参加型政策形成の可能性—地方議会改革に
焦点を当てて—」

久保慶明(筑波大大学院)

「非統一政府下における新規税制導入の政策過程：神奈川県水源環境保
全税を事例として」

司会：廣瀬克哉

B. 「地域における政策課題の現在」

水田敦士(立命館大大学院)

「『大学のまち』京都における大学政策～大学・地域連携における現状
と課題～」

鈴木潔(日本都市センター)「自治体における法務管理—行政上の義
務履行確保と訴訟法務を中心に」

遠藤崇浩(総合地球環境学研究所)「地表水と地下水の統合管理につい
て—愛媛県西条市を事例に—」

司会：真山達志

C. 「国家・国際政策の課題」

大瀧正子(立命館大大学院)

「公平性の観点からみたポスト京都に向けた数値目標設定の問題点 —
ダボス会議から北海道洞爺湖サミットへ向けて —」

那須修(警察大学校)

「官民一体となった被害者支援活動の発展に向けた今後の課題」

伊藤慎式(行政管理研究センター)

「個人情報保護法と過剰反応—内容分析による検証」

司会：宇佐美誠

D. 「政策・政治過程の分析」

京俊介（大阪大大学院）

「コンピュータ・プログラム著作権創設の政治過程」

田中信一郎（明治大大学院）

「質問主意書の作成過程」

Ahmed Mohamed Abd Rabou（北海道大学大学院）

"Policy Networks and Policy Making Process: A Case of Education Reforms in Japan, 1980-2000."

LIU Zhiyoung（東北大大学院）

"Public-Private Partnerships in China : Status Quo, Issues and Trends."

司会：松田憲忠（北九州市立大学）

11:30-12:30 昼休み・理事会

12:30~14:30 シンポジウム I

「公共政策学のディシプリンを立てる」

パネリスト：松下圭一（日本公共政策学会初代会長）

足立幸男（関西大学）

細野助博（中央大学）

森脇俊雅（関西学院大学）

司会：真淵勝（京都大学）

14:45~16:45 セッション I

E. 「補完行政の今後」（シンポジウム形式）

浅野史郎（前宮城県知事）、片山善博（前鳥取県知事、慶応大）、

北川正恭（前三重県知事、早稲田大）

司会：横須賀徹（常磐大学）

F. 「都市の貧困化と限界コミュニティ—神戸市と北九州市を事例にして」

報告者：池田清（下関市立大学）

「都市の貧困化と『限界コミュニティ』—阪神・淡路大震災後の神戸市を事例に一」

梶原真二（北九州市立大学）

「高齢社会と限界コミュニティ—北九州市を事例にして—」

山下厚生（北九州社会教育・生涯学習研究会事務局長）

「『貧困化』の背景を社会教育の側面から考察—戦後63年の流れとまちづくりの『今』をみながら—」

討論者：広原盛明（龍谷大学法学部教授）

司会：太田周二郎（下関市立大学）

G. 「環境ガバナンスの比較地域研究」

報告者：申東愛（北九州市立大学）

「AFC にみる環境ガバナンスの条件に関する研究—国営諫早
湾土地改良事業の実施過程を中心として—」

高津融男（奈良県立大学）

「日本の農業・食料・環境の持続可能性」

長峯純一（関西学院大学）

「政策形成と流域ガバナンスのあり方—Chesapeake Bay
Program と CALFED Bay-Delta Program からの示唆—」

討論者：調整中

司会：長峯純一（関西学院大学）

H. 「公共政策—学と官の新しい地平」

討論者：阿川尚之（慶應義塾大学）、田中法昌（警察庁）、原田賢一郎（東
北大学）、松原聡（東洋大学）

司会者候補：黒須卓（国土交通省）

17：00～18：00 総会・授賞式

（バスで移動）

18：40～20：40 懇親会（リーガロイヤルホテル小倉）

第2日 6月15日（日）

9：30～11：30 セッション II

I. 韓国政策学会との交流セッション

基調報告：廉載鎬（高麗大校）

他報告者等調整中

J. 「現代日本の貧困・不平等について考える」

報告者：藤藪貴治（北九州市立大学）

「生活保護『ヤミの北九州方式』の実態から、生活保護行政の
在り方を考える」

湯浅誠（NPO 法人自立生活サポートセンターもやい事務局長）

「生活困窮者支援の現場から『反貧困』の課題を考える」

井上英夫（金沢大学）

「貧困・不平等と人権」

司会：杉村宏（法政大学）

K. 「財政赤字と福祉国家における財源調達」

基調講演：加藤淳子(東京大学)

討論者：横山彰(中央大学)、井手英策(横浜国立大学)

司会：諸富徹(京都大学)

L. 「日本のガバナンスを評価する」

報告者：大住荘四郎（関東学院大学）

「日本の NPM について：国際比較の観点から」（仮）

桜井徹（日本大学）

「日本の公企業民営化の特徴：国際比較、とくに日独比較を中心に」

秋吉貴雄（熊本大学）

「わが国における規制緩和の制度設計と政策パフォーマンス—航空輸送産業を事例として—」

討論者：調整中

司会：笠京子（明治大学）

M. 「市民社会（自治会、社会団体、NPO）と自治体のガバナンス」

報告者：山本英弘（筑波大学）

「近隣住民組織による行政へのはたらきかけ—自治会・町内会全国調査の分析—」

森裕城（同志社大学）

「日本の政治過程における団体の存立・行動様式—市民社会団体調査（JIGS2 調査）の分析—」

他交渉中

司会：Robert Pekkanen（ワシントン大学）

11：30～12：30 昼食・理事会

12：30～12：50 総会

13：00～15：00 セッション III

N. 「ローカル・マニフェスト評価の理論と実践」

報告者：伊藤修一郎（筑波大学）

「マニフェスト評価と行政組織」

林紀行（早稲田大学）

「ローカル・マニフェストの現状」

長野基（跡見学園女子大学）

「市民によるマニフェスト評価—市民社会組織による評価事例からの考察」

討論者：廣瀬克哉（法政大学）

司会：小池治（横浜国立大）

O. 「図書館政策」

報告者：萩原幸子（専修大学）

「公共図書館における PPP 概念の適用：現状と課題」

女子分博恭（宮崎市立図書館）

「NPO 法人 MCL ボランティアによる宮崎市立図書館の運営」

黒岩秀文（長崎市立図書館長）

「長崎市立図書館整備運営事業について」

討論者：片山善博（慶應義塾大学）

司会：初谷勇（大阪商業大学）

P. 「環境ガバナンスと民主主義の理念」

報告者：竹下 賢（関西大学）

「環境ガバナンスにおける公共性の意義」

坪郷實（早稲田大学）

「環境ガバナンスと政策づくり—環境目的と環境指標を中心に」

山谷清志（同志社大学）

「ガバナンスとアカウンタビリティ— ‘public governance’

と ‘good governance’ から—」

討論者：野田浩資（京都府立大学）

司会者：足立幸男（関西大学）

Q. 「地方財政改革：基礎自治体関係」（シンポジウム形式）

小西砂千夫（関西学院大学）

江島潔（下関市長）

「下関市の行財政改革について」

青山崇（多治見市会計管理者）

「自律的な自治体運営を目指して～多治見市の総合計画と健全な財政に関する条例を事例として～」

司会：横須賀徹（常磐大学）

15：15～17：15 シンポジウムⅡ

「日本の小政府、大赤字の構造を解き明かす」

パネリスト：井堀利宏（東京大学）

吉田和男（京都大学）

細野助博（中央大学）

辻中豊（筑波大学）

司会：長峯純一（関西学院大学）